



先進的なビジネスを成功させるための 効率的な IT 基盤を構築する

IT モダナイゼーションから価値を創出するためのガイド

目次

1 ページ

IT モダナイゼーションとは

2 ページ

ステップ 1:

IT 環境を調整して一貫性を得る

3 ページ

ステップ 2:

ソフトウェアをモダナイズする

4 ページ

ステップ 3:

クラウドの基盤を構築する

5 ページ

ステップ 4:

有効な場所に移行する

6 ページ

IT モダナイゼーションを今すぐ始めましょう



IT モダナイゼーションとは

IT モダナイゼーションは、段階的で体系的な一連の変化で、組織を標準インフラストラクチャへと移行させます。IT をモダナイズすると、現在の IT 投資からより多くの成果を生み出し、予算と時間を将来への準備に振り向けられます。

デジタルの世界で成功するには IT モダナイゼーションが必要

どの IT 意思決定者も、既存の IT システムの維持と、将来のイノベーションのための基盤の構築という、2 つの主要な要求のバランスをとろうとしています。柔軟性に欠けるプロプライエタリー・インフラストラクチャではレガシーの運用に偏りすぎるので、戦略的で先見性のある取り組みの妨げとなります。現状維持から脱却し、将来を見据えた施策を取るためには、IT インフラストラクチャをモダナイズし、より柔軟で安定したオープンなプラットフォームとツールに移行する必要があります。

IT モダナイゼーションは一夜にしてなるものではありません。それは段階的で継続的なプロセスです。戦略的なモダナイゼーションを通じて、アジリティを徐々に向上させながら、全体的な整安静とビジネスパフォーマンスを向上させます。先進的なソフトウェア、プラットフォーム、プロセスにより、ソフトウェアとサービスを社内外の顧客により迅速に提供できます。

IT モダナイゼーションはデジタル世界で長期的な成功を収めるための基盤です。

IT モダナイゼーションでイノベーションを起こす能力を向上させる 3 つの方法



標準化

- 一貫した共通の IT フレームワークを組織全体にデプロイする
- セキュリティを効率化してポリシーおよび規制とのコンプライアンスを向上させる
- 自動化によって運用を単純化し、精度を向上させる



デジタル・トランスフォーメーション

- イノベーションに割り当てられる予算とリソースを徐々に増やす
- 実証済みの投資対効果を手に入れ、総所有コスト (TCO) を低下させる
- 効果的に競争するための、イノベーションの基盤を構築する



管理の単純化

- セキュリティを損なうことなく、ハイブリッドおよびマルチクラウド環境でインフラストラクチャを最適化し、スケーリングする
- すべての先進的および従来のインフラストラクチャ要素を体系的に管理する



この e ブックでは、IT モダナイゼーションへの移行プロセスの主なステップと、始める際の推奨事項について紹介します。モダナイズしてデジタルビジネスをサポートする方法をご確認ください。

ステップ1

IT 環境を調整して一貫性を得る

プロプライエタリー・ソリューションに基づく複雑で統合されていない IT 環境では、管理するために時間、エネルギー、予算がより多く必要となることが一般的です。一貫性のないプラットフォームとプロセスでは、成長が妨げられ、メンテナンスが事後対応的になります。さらに、複数のプラットフォームをサポートすることから、トレーニング、サポート、運用の予算の要件が高まります。

標準化された運用環境 (SOE) をデプロイすると、組織全体で一貫性の実現に役立ちます。一貫したプラットフォームがあると、コストを削減して IT を加速し、イノベーションを効果的にサポートするために必要な効率性を得ることができます。ハイブリッドおよびプライベートクラウドへの接続性、クラウドネイティブ開発、コンテナを含む、新しいテクノロジーとアプローチをサポートする先進的ソリューションで標準化しましょう。

標準化のメリット

標準 IT プラットフォームを組織全体にデプロイすると、多数のメリットが得られます。



自動化: ミスの発生しやすい手作業を自動化



一元化: システムライフサイクルの管理性を効率化



管理: ライセンスの使用とサブスクリプション契約のコンプライアンスの管理性が向上



高速化: ソフトウェアのインストール、アップグレード、パッチ適用にかかる時間を短縮



向上: セキュリティの強化



低減: シャドウ IT の低減

エンタープライズグレードのオープンソース・テクノロジーでより多くの価値を実現

コミュニティがサポートする無料のオープンソース・テクノロジーで標準化するほうが費用削減の面で優れた方法のように思われますが、実際には商用サービスのほうがより多くの価値を提供し、長期的にはコストを削減できます。

Red Hat のエンタープライズグレードのオープンソース・ソリューションで標準化した組織は、以下のことを実現できます。

IT スタッフの生産性の向上

\$10,365

作業時間の効率による削減額¹

リスクの低下

\$4,200

ダウンタイムの短縮による削減額¹

IT インフラストラクチャ関連コストの削減

\$874

最適化されたライセンスおよびトレーニングコストによる削減額¹

ビジネス生産性の向上

\$1,756

ビジネス運用サポートの改善による削減額¹

* 削減額はすべて 100 ユーザー当たり

¹ IDC ホワイトペーパー (Red Hat 後援) 「無料版と比較したレッドハットソリューションのビジネス価値」、2019 年 7 月。Document #US45045719

ステップ 2

ソフトウェアをモダナイズする

運用環境を標準化したら、次はソフトウェアを検討します。先進的ソフトウェアは IT の効率性とイノベーションの可能性を向上できます。また、クラウドネイティブでコンテナベースの開発プラクティスを導入して、アジリティを大幅に高めるための準備にもなります。ハードウェアアップグレードやクラウド移行の基盤も構築されます。実際、ソフトウェアのモダナイゼーションによって、3 年間の投資対効果は 368% にもなります。²

ソフトウェア・モダナイゼーションの主な機会

オペレーティングシステム

コスト効率の優れた基盤となってクラウドのアジリティやスケーラビリティを提供し、既存の開発プロジェクトをサポートするオペレーティングシステムを選びます。

70 億ドル

エンタープライズグレードのオープンソース・オペレーティングシステムを使用する IT 組織が 1 年に削減した金額。³

管理ツール

単一の一元化されたプラットフォームをデプロイし、制御を向上させ、インフラストラクチャ全体で資産をプロアクティブに管理します。

38%

IT インフラストラクチャ・チームの効率の向上。²

32%

3 年間のサーバー・インフラストラクチャ・コストの低下率。²

開発プラットフォーム

現在の取り組みをサポートし、クラウドネイティブおよびコンテナベースの開発アプローチに向けて準備できる、仮想化環境を構築します。

34%

新規アプリケーションの提供に必要な時間を短縮。²

21%

開発チームの生産性を向上。²

レガシー・ソリューション

高価なプロプライエタリー・プラットフォームを、弾力性、スケーラビリティ、コスト効率を向上させるエンタープライズグレードのオープンソース・テクノロジーに交換します。

32%

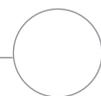
IT インフラストラクチャ・コストを低減。²

63%

予定外のダウンタイムを短縮。²

2 IDC ホワイトペーパー、Red Hat 後援：「[無料版と比較したレッドハットソリューションのビジネス価値](#)」、2019 年 7 月。Document #US45045719

3 IDC ホワイトペーパー、Red Hat 後援：「[Red Hat Enterprise Linux の経済効果：数兆ドル規模の影響](#)」、2019 年 5 月。Document #US45007819



ステップ 3

クラウドの基盤を構築する

クラウド・コンピューティングは、モノリシック・サーバーの購入や破壊的なデータセンターの更新に代わり、動的で強力な選択肢です。そのため、87% の企業がハイブリッドクラウド戦略を、92% がマルチクラウド戦略を実施しています。⁴

ハイブリッドおよびマルチクラウド環境は、オンサイト、プライベート、パブリッククラウドのリソースを組み合わせて、デジタル・トランスフォーメーションに必要なアジリティ、スピード、効率性を提供します。コンピュート、ストレージ、ネットワーク、サービスは必要に応じて追加できます。ターンキー型の先進的開発環境にすばやくアクセスできます。複雑なサーバーおよびアプリケーションの管理業務を排除し、セキュリティと制御を維持できます。

最適化されたハイブリッドクラウド環境は、ダウンタイムを発生させずに老朽化したインフラストラクチャを徐々に入れ替えて、柔軟性、安定性、効率性を向上させることができます。組み込み機能または統一プラットフォームを通じた自動化は不可欠です。自動化を使用して、IT ユーザーにセルフサービス機能を提供し、DevOps や継続的インテグレーション/継続的デリバリー (CI/CD) パイプラインなどの先進的な開発テクニックやアプローチの基盤を構築できます。



パブリッククラウドへの移行は大規模なデジタル・トランスフォーメーションの取り組みの一部であると回答した、調査対象の組織の割合。⁵

クラウドの導入が拡大中

あらゆる規模の組織がワークロードをクラウド環境に移行して、アジリティ、スピード、効率性を手に入れようとしています。

36%

クラウドの取り組みを拡大して IT 運用を最適化している組織の割合。⁵

82%

ハイブリッドクラウド戦略を実施している組織の割合。⁴

92%

マルチクラウド戦略を実施している組織の割合。⁴

50% 以上

複数のクラウドを開発およびデプロイメントに使用しているグローバル組織の割合。⁶

2022 年までに

35%

のプロダクション・アプリケーションがクラウドネイティブになり、マイクロサービス、コンテナ、動的オーケストレーションを取り入れるようになる。⁶

4 Flexera, 「Flexera 2021 State of the Cloud Report」、2020 年 4 月。

5 IDC ホワイトペーパー、Red Hat 後援、「パブリッククラウドへの移行：サーバー・オペレーティングシステム環境の戦略的役割」、2020 年 5 月。Document #US46304220。

6 IDC InfoBrief、Red Hat 後援、「An Open Approach to Digital Transformation」、2020 年 7 月。Document # US46635820。



ステップ 4

有効な場所に移行する

IT チームは、ツールの価値やイノベーションが減少していても、使い慣れたツールを使い続けがちです。多くの場合、現在の IT 意思決定者はこれまで、このような同じツールを使用していました。モダナイゼーションは継続的なプロセスであり、意思決定者は IT とビジネスにより大きな価値を提供する新しいソリューションを継続的に評価し、移行することを求められます。

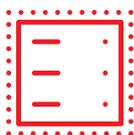
一般的な移行の機会



オペレーティングシステムのモダナイズ

オペレーティングシステムは IT 環境と運用の基盤です。IT の効率性とパフォーマンス、さらには適応して変革する能力にも、大きなインパクトを与える可能性があります。

Red Hat® Enterprise Linux® などのプロダクショングレードでサブスクリプションベースのオープンソース・プラットフォームに**移行**して、コストを削減し、生産性を向上させ、より多くの価値を実現しましょう。



仮想マシンの移行

レガシーの仮想化ハイパーバイザーでは、コストもリスクも上昇します。また、1 つのベンダーとプラットフォームにロックインされ、クラウドネイティブでコンテナベースの環境へのアプリケーションの移行が妨げられます。

仮想マシンをコンテナで実行し、ハイブリッドクラウド環境に容易に統合できる、**Red Hat OpenShift®** などの先進的アプリケーション・プラットフォームを選びましょう。



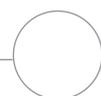
コンテナへのアップグレード

コンテナ環境は、セキュリティを高めつつ、アプリケーションの構築、デプロイ、運用を迅速化するのに役立ちます。しかし、コンテナ導入の道のりは、一筋縄ではいきません。

コンテナを容易に使い始められ、Kubernetes および高度なコンテナ開発およびデプロイに向けて前進できるプロダクショングレードのコンテナ対応プラットフォームを探しましょう。



Red Hat Enterprise Linux のエクスペリエンスについての e ブックを読み、IT 環境に一貫した運用基盤をデプロイすることのメリットをご確認ください。



IT モダナイゼーションを今すぐ始めましょう

IT モダナイゼーションにおいては、変化と予算の両立が重要となります。

ハイブリッドクラウド環境向けの一貫したエンタープライズグレードの基盤をデプロイして、IT モダナイゼーションの第一歩を踏み出しましょう。先進的なクラウド対応プラットフォームからは、仮想化環境の最適化、クラウドネイティブ開発アプローチの導入、セキュリティとコンプライアンスの向上に必要なすべてが得られます。予算をイノベーションに振り向けてデジタル世界でのビジネスをサポートすることもできます。

Red Hat がハイブリッドクラウド・テクノロジーで IT のモダナイズを支援する方法をご覧ください：redhat.com/hybrid-cloud

Red Hat のエキスパートと連携してモダナイズを加速

Red Hat コンサルティングは、先進的な IT 環境を迅速にデプロイできるようお手伝いします。Red Hat コンサルティングの取り組みは、オンサイトで実施される半日の無料ディスカバリー・セッションから始まります。このセッションで Red Hat のエキスパートがお客様と協力しながら、最も差し迫ったビジネス上の課題を特定し、この課題を克服するための実践的なアプローチを決定し、実装から期待される成果を特定します。

無料のディスカバリー・セッションを予約：
red.ht/consulting-ja